

12/12 国際理解講演会【3年】

12/12(木)に、3年生にとって最後の「国際理解講演会」を実施しました。関西学院大学 非常勤講師の杉山 精一先生をお招きして、「私のアフリカ体験～世界はみなさんのすぐ「横」にある～」というテーマでご講演頂きました。英語圏以外の国のお話に生徒たちにも新たな気づきがあったようです。

演題：私のアフリカ体験～世界はみなさんのすぐ「横」にある

日常の風景にも、疑問を持って、
常に考える大切さを学びました。



その国の国旗を思い浮かべるのではなく、
その人の顔を思い浮かべること



研修旅行で行った
イギリスとの違いに、
驚きがいっぱい！



★アフリカには、戦争や性被害など私が想像するよりも多くの課題があり、日本から離れた国で同世代の人が苦しんでいる状況を想像すると、すぐに解決できないことに歯がゆさを感じました。杉山先生がおっしゃった「足元を見つめる」ことを心がけて、普段から色々なことを考えて行動していこうと思いました。★国際問題について考える上で、まずは普段の日常生活の中で気づいたことや疑問に思ったことに、もっと興味をもってみようと思いました。毎日使っている電車の中の優先座席の写真を見て、手すりがないことに気づきませんでした。普段から色々なことを観察して、視野を広げようと思います。★昨年イギリスに行った時は、日本との違いにただ驚くばかりでしたが、「なぜ違うのか」を現地の方に聞いてみるべきだったと思いました。次回、海外に行くときは、その国のことをしっかり勉強して、疑問点や仮説を立ててから行くことで、さらに充実した旅になると思います。★靴磨きトラベラーやウガンダの現状など、様々な動画を見て、「どうしてだろう」と常に疑問をもつことや自分から関わりを持つことで新たな知識が増えることを学ぶことができました。★世界を知るためには、国ごとにカテゴリー分けするのではなく「人同士」として様々な背景を持った人とつながっていきたいと思いました。